JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部：	北海道支部	(2)記載者氏名：	井後　幸太郎	会員番号：	8870	事務局整理記入欄			北海道－181
分水嶺区分	林道交点～P274(H190とH189の間)			(3)山行日：	2005年	4月	27日	(4)天候	晴：積雪　1m

(5) 参加者氏名および会員番号

井後　幸太郎	8870		
米村　清一	10314		
西野　数之	11515		
		計	3名

サポート要員氏名および会員番号

畠山　廸子	12850		
		計	1名

(6) 山行記録・位置確認（出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して）・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略：	上八雲～ｻｯｸﾙﾍﾞﾂ川林道～分水嶺林道～ﾄﾜﾙﾀｯﾌﾟｺｯﾌﾟ岳～ﾀｳﾙﾍﾞﾂﾙｺﾂ林道～八雲
ｱﾌﾟﾛｰﾁ：	札幌→上八雲

地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	ｻｯｸﾙﾍﾞﾂ川一番通	上八雲	140	8	32.4	42	19	0.26	100		5:45		(8)
分水嶺到達点	260林道交点	ルコツ岳	140	8	46.6	42	21	23.0	260	7:25	7:50	B-4	(9)
分水嶺離別点	P274	ルコツ岳	140	10	14.6	42	22	28.4	274	9:15		B-4	
歩行終了点	林道基点より3km	上八雲	140	9	45.1	42	20	7.0	100	12:45		B-4	(8)
										総歩行時間（休憩時間を除く）：			6時間00分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

サックルベツ川一番川すぐに黄色い橋、二番目の橋前にゲートあり。
タウルベツルコツ川林道は、雪崩による土砂崩れ2箇所あり。整備無い為車道としては使用不能。

(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺部分は融雪が進み、笹薮が露出、八雲側斜面はハンの木の植林帯（3・4年生？）　この為の林道開設04年。
林道の下部は殆ど路面出現。

(10) その他の特記事項

サックルベツ川林道10分程で路上に熊の糞発見（3～4日前？）
スキーは使用せず、ツボ足にて走破。
分水嶺上は笹の繁茂著しく縦走不可。来シーズンの雪上縦走に賭けることとする。
残りは、トワルタップコップ岳より454m峰まで。

(11) 写真の添付：（有りの場合には、写真説明を記入してください）

写真説明：